

第2期魚津市子ども・子育て支援事業計画の方向性の検討

集計途中ではありますが、集計結果、公共施設再編計画、将来の人口推移をふまえ、第2期魚津市子ども・子育て支援事業計画の方向性をまとめていきたいと考えています。

・少子化に伴った園の適正配置と子育て支援策

将来の魚津市の推計人口から推察し、今後0～14歳の人口減少は避けられません。現在の公共施設再編方針や、市議会決算特別委員会等からの指摘を考慮し、公立保育園の適正配置とそれに代わる子育て支援策の拡充をニーズ調査をもとに進めていきます。

・家庭で子どもを保育している世帯への支援

家庭が子どもにもっとも影響する環境と考えている親が多いことから、家庭で十分な保育・教育をおこなうことができるような支援を行います。

・日曜・祝日の子育て・保育環境の検討

日曜や祝日にも対応した保育サービスや遊び場の整備への高いニーズをふまえ、日曜・祝日に受けられるサービスを検討します。

・子どもや親子でのびのび遊べる場所の充実など乳児連れでも活動しやすいまちづくり

屋内の遊び場への要望が多いことを考え、そのニーズに合ったまちづくりを目指します。

・子育て中の人や子育て経験が身近に集える場所や仕組みづくり

・子育てについて相談できる場や仕組みづくり

子育てについての相談ができる第三者を設け、出産前からの切れ目ない支援を行います。

・情報発信の強化

現在市内で行っている事業への認知度が低かったこと、「知っているなら使いたかった」というこえがあったことをふまえ、各事業のさらなる周知をはかります。

平成31年度以降のスケジュールについては、別紙のとおりです。子ども・子育て支援事業計画策定のため、来年度の子ども・子育て会議についても4回程度開催を予定しております。ご多忙とは存じますが、どうぞよろしくお願いいたします。